

World Diabetes Day

2025

11 / 14

World Diabetes Day Committee in Japan

「ブルーサークル」とは…

世界糖尿病デーの青い丸をモチーフにした「ブルーサークル」は、国連や空を表す「ブルー」と、団結を表す「輪」をデザインし、“Unite for Diabetes”（糖尿病との闘いのため団結せよ）というキャッチフレーズとともに、世界中で糖尿病抑制に向けたキャンペーンを推進するシンボルマークです。



急増する糖尿病の克服のため、国際連合（国連）は、「糖尿病の全世界的脅威を認知する決議」を2006年12月20日に国連総会決議で採択しました。同時に、インスリンの発見者であるバンティング博士の誕生日である11月14日を「世界糖尿病デー」に指定し、世界各地で糖尿病の予防、治療、療養を喚起する啓発運動を推進することを呼びかけました。11月14日は国連及び主要国で様々なイベントが開催されます。我国でも、日本糖尿病学会、日本糖尿病協会が中心となって、国民の皆様へ呼びかけ活動の輪を広げる活動をしています。

(<http://www.wddj.jp>)

この活動のシンボルカラーはブルーに定められました。11月14日夜は世界中の著名な建造物などがブルーにライトアップされます。過去には、海外で、米国エンパイア・ステート・ビル（ニューヨーク）、シアーズ・タワー（シカゴ）、カナダナイアガラの滝、CNタワー（トロント）、バンティング・ミュージアム、英国ロンドンアイ（観覧車）、シェル・タワー（ロンドン）、フリンダース通り駅（メルボルン）、ピサの斜塔（イタリア）、大噴水‘Jetd’Eau’（スイス）、ブリュッセル・シティ・ホール（ベルギー）などがライトアップされ、日本国内でも、全国各地の著名な施設がブルーにライトアップされました。

今年は、岡山県内で、岡山城、備中国分寺、旧遷喬尋常小学校、城西浪漫館（中島病院旧記念館）、岡山市立市民病院（ポケットパーク）、岡山県医師会館等がブルーライトアップされ、岡山駅前の岡山ターミナルスクエアビルでは“世界糖尿病デー”のシンボルのブルーサークルをライトアップいたします。

国連がAIDSと同様の危機感を表明した「糖尿病」の克服に向けて、私たちはこれからも患者さんとともに全力で取り組んで参ります。



岡山城



岡山ターミナルスクエアビル



備中国分寺



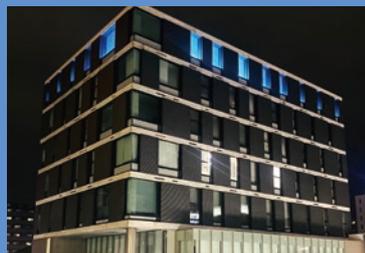
旧遷喬尋常小学校



城西浪漫館（中島病院旧記念館）



岡山市立市民病院（ポケットパーク）



岡山県医師会館